

ドイツ語1

科目ナンバー 0A131
総合基礎 選択 1単位

金成 祐人

1. 授業の概要(ねらい)

ドイツはEU経済の中心であり、美しい町並みや自然景観、音楽や文学、哲学などの魅力溢れる国です。この講義では、日常的な場面のドイツ語会話を学び、ドイツ語初級レベルの「聞く、話す、読む、書く」の四技能を習得します。実際のコミュニケーションに使えるようにするため、グループワーク等を取り入れた講義を行います。発音は規則通りに読めるものが多く、それほど難しくありません。声に出してみながら楽しんで学んでいきましょう。

なお、この授業は、総合基礎科目の学修目標1、2、3に関連します。

2. 授業の到達目標

- ・学生は、ドイツ語で挨拶や自己紹介など簡単なコミュニケーションが取れる。(技能)
- ・学生は、ドイツ語で簡単な文を書ける。(技能)
- ・学生は、日常的なドイツ語会話を聴き取り理解することができる。(技能)
- ・学生は、ドイツ語の短い文を読み解くことができる。(技能)
- ・学生は、初級レベルの文法知識を習得する。(知識・理解)

3. 成績評価の方法および基準

定期試験: 60%、小テスト: 40%

小テストについて、LMS 上でフィードバックを行ないます。

4. 教科書・参考文献

教科書

秋田静男ほか 『イン・ドイチュラント——ドイツ語インフォメーション 映像付——』 朝日出版社、2016年

ISBN: 978-4255253886

参考文献

在間進編 『アクセス独和辞典』第4版 三修社、2021年

ISBN: 978-4384060003

(他の辞書でも可)

在間進編 『アクセス和独辞典』 三修社、2012年

ISBN: 978-4384043211

(他の辞書でも可)

常木実 『標準ドイツ語』(新訂版) 郁文堂、1970年

ISBN: 978-4261070972

5. 準備学修の内容

- ・準備学修として、次回の講義範囲について単語の意味を調べてノートにまとめてください。(30分)
- ・事後学修として、文法事項や単語を確認し、練習問題で間違ったものをノートにまとめてください。また、テキストの音声・映像を活用し、発音・聴き取りの練習をしてください。(60分)

6. その他履修上の注意事項

前期「ドイツ語1」と後期「ドイツ語2」の受講によってドイツ語の基礎を習得できますので、引き続き後期の「ドイツ語2」を受講することが望ましいです。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション、Lektion 0: おはようございます! (ドイツ語のあいさつ、数詞①(0~9))
- 【第2回】 Lektion 1: ホンダミカと申します①(人称代名詞、動詞の現在人称変化)
- 【第3回】 Lektion 1: ホンダミカと申します②(sein(〜である)、疑問詞)
- 【第4回】 Lektion 2: 何を飲むの? ①(haben(持っている)、名詞の性)
- 【第5回】 Lektion 2: 何を飲むの? ②(語順、決定疑問文と答え方)
- 【第6回】 Lektion 3: そのカサはいくらですか? ①(定冠詞と名詞の格変化)
- 【第7回】 Lektion 3: そのカサはいくらですか? ②(名詞の複数形)
- 【第8回】 前半の復習
- 【第9回】 Lektion 4: コーヒーを一杯ください①(不定冠詞、所有冠詞(不定冠詞類))
- 【第10回】 Lektion 4: コーヒーを一杯ください②(否定冠詞(不定冠詞類))
- 【第11回】 Lektion 5: バスは何時に出ますか①(現在人称変化の不規則な動詞(1))
- 【第12回】 Lektion 5: バスは何時に出ますか②(名詞の3格、人を表す疑問代名詞)
- 【第13回】 Lektion 6: 何を注文する? ①(現在人称変化の不規則な動詞(2))
- 【第14回】 Lektion 6: 何を注文する? ②(人称代名詞、非人称のes)
- 【第15回】 テスト、まとめ